

# IMO 第 11 回 GHG 中間作業部会 (ISWG-GHG 11) 審議結果

【開催日程】 2022 年 3 月 14 日～18 日

【主な審議事項】

- ① 船舶燃料のライフサイクル全体の GHG 排出量を評価するためのガイドライン (LCA (Life Cycle Assessment) ガイドライン) の検討
- ② 短期対策 (EEXI・CII 格付け) の影響評価の教訓活用 (レスンスラウンドエクササイズ)
- ③ 燃料油消費実績報告制度 (DCS : Data Collection System) の改正

【① LCA ガイドラインの検討】

- 日本等が提案していた LCA ガイドライン案をベースに、下記付託事項 (TOR : Terms of reference) に沿って検討を行う通信部会 (会期外にオンラインベースで検討を行うグループ) を、本年 6 月開催の IMO 第 78 回海洋環境保護委員会 (MEPC 78) で設置することに合意した。
  1. 本年 12 月開催の MEPC 79 における LCA ガイドライン案の最終化を目指して、下記事項を検討する。
    1. LCA ガイドライン案に含めるべき、燃料の主要な生産経路及び原料、また、それらの分類方法の特定
    2. 1.1 で特定された燃料を考慮し、持続可能性基準 (sustainability criteria issue) の更なる検討及び燃料ライフサイクルレベルの更なる策定
    3. 1.1 で特定された燃料の陸上排出、船上排出及びライフサイクル全体の排出に関するデフォルト値の計算を可能とする方法論の策定
    4. 1.1 で特定された燃料の陸上排出、船上排出及びライフサイクル全体の排出に関するデフォルト値を継続的にレビューする手続きの策定

5. 第三者による検証・認証スキームの指針の策定
2. LCA ガイドライン案に関する全体構造、フォーマット及び整合性の再検討
3. MEPC 79 に対する報告書の提出

#### 【② レッスンズラウンドエクササイズ】

- レッスンズラウンドエクササイズについて、その方法論と実施手順に関して、3月8日～9日に開催された影響評価に関する専門家会合 (GHG-EW 2)において議論された内容も考慮して、更なる検討を行っていくことで合意した。
- 2019年に策定した「影響評価の実施手順と方法論」(MEPC.1/Circ.885)について、WGは、レッスンズラウンドエクササイズを踏まえて、今後改善を行っていくことで合意した。
- また、MEPC.1/Circ.885の改定にあたっては、MEPC 79における最終化を目標として、それまでに然るべき検討の機会(例:ISWG-GHG)を設けることをMEPCに対して要請することで合意した。

#### 【③ DCS の改正】

- DCSの報告内容について、EEXIおよびCIIに関する事項を追加するためのMARPOL条約附属書VIの改正案は合意された。このため、MEPC 78において承認のための審議が行われる。
- DCSにおける匿名性や端数処理の問題などを見直しするための作業を開始することに合意した。